

東はりま甲南会報

号外

平成25年7月10日

発行
東播磨甲南会
 [事務局]
 〒675-0017
 加古川市野口町良野
 365-11
 行政書士澤本事務所
 澤本武司 気付
 TEL 079-421-1747
 FAX 079-439-2842
 E-mail sawamoto@gyoset.or.jp

開催予定

日時
来年度・総会
 平成26年6月7日(土)・午後5時より

会場
加古川プラザホテル

三宅新体制が始動!!



東播磨甲南会の第21回総会・懇親会が5月26日、加古川市の加古川プラザホテルで開かれた。この日は三宅隆宏会長(S41営)、栗山隆博幹事長(S62文)という新体制での初の例会。甲南学園、同窓会本部関係者や各地甲南会(阪神、明石、宝塚、三木、堺)からの来賓をはじめ、昭和31年の第2回卒業生から、平成25年卒業の新人会員まで、多彩な顔ぶれの総勢47人が出席し、総会、講演会、懇親会と新しい船出にふさわしい盛会となった。

東播磨甲南会は今年、発足以来20年にわたって会長を務めてきた森滋郎氏(S10旧理)が96歳という高齢のため退任。幹事長として会を切り盛りしてきた三宅氏が新会長に就任した。後任の幹事長には栗山氏が就き、平成卒も役員に加わるなど、組織は大きく若返った。

総会では冒頭、三宅新会長が挨拶に立ち、名誉会長となった森前会長の功績を称えながら、「これまでの東播磨らしい伝統を引き継ぎ、多彩な例会の実施などで会員

の大幅な参加増、とりわけ女性会員の参加増を目指したい」と決意表明。「総会時の服装をカジュアルにするなど、楽しく気楽に参加出来る雰囲気を作る一方、会員の所属団体の案内を配布するなど、会員同士が甲南会の交流を幅広く生かしていきたい」と述べた。また、設立30年の節目に向けては「15周年の総会時に掲げた組織拡大の目標を達成するため、播磨の甲南同窓生の一大拠点となるよう、会の活性化を図っていききたい」と訴えた。その後は新役員体制をはじめ、事業報告、



活動計画案が承認され、新生東播磨甲南会が歩み出した。続く講演会には、陸上男子100mのアジア記録保持者で、甲南大学准教授、日本陸連強化委員会短距離部長として活躍する伊東浩司氏が「私とスポーツ」の演題で登壇。「アジアで最も速い男」としての自負とともに、厳しいトレーニングの中で目指していた「9秒台の世界」について語った。また、10秒の壁を破る期待がかかる今話題のスーパー高校生の桐生祥秀君にも触れ、「陸連役員として、自身の記録を破ろうとしている選手のために、競技施設の充実や広報活動を行っている複雑な心境の日々」を苦笑混じりで紹介した。

懇親会は、加古川プラザホテル地階の加古川倶楽部で開催。懇親会から出席者が数人増え、「乾杯!」の大合唱で開宴した。世代を超えた語らいで大いに盛り上がり、西尾淳氏(S39営)の指揮で学園歌を斉唱し、来年のさらなる盛会を誓って散会。この日は、地元業界紙の取材も受け、「甲南の絆」のPRもできた。また、一部の会員参加による二次会は、日付が変わるまで熱い語らいの時間が続いた。

5月31日には役員による反省会が開かれ、今後、フェイスブックなどのソーシャル・ネットワーク(SNS)の積極活用や、若手が参加できる新趣向の総会や例会のあり方などについて議論し、今後の総会日程を6月第1土曜日に固定することとした。さらなる活性化に向け、全会員の知恵を結集していきたい。